

⑧

①

短きも長きも毛虫みな嫌ひ

もくもくと煙の如き毛虫かな

割箸で毛虫の背ナを撫でてみる

何色であれど毛虫は毛虫なり

ふはふはと風に吹かるる毛虫かな

割箸の先に毛虫がくねくねと

毛虫にも色々ありてみな嫌ひ

よく嚙んで緑つめこむ毛虫かな

大いなる毛布に小さき毛虫をる

毛虫にも色々あれどみな嫌ひ

見開きの毛虫凶鑑と見比べて

大いなる靴にて毛虫潰さるる

地獄とは毛虫の多き国ならむ

人類にプロメテウスや毛虫焼く

毛虫とは似ても似つかぬものとなる

病める木に灸のごとく毛虫焼く

王様のやうなあゆみを毛虫かな

輪になつて毛虫なにかになるつもり

吹く風に戦ぎ初めたる毛虫かな

総身の豊かに吹かれ毛虫かな

毛虫なら竹輪の穴に入れさう

毛虫にも赤子がをりて毛が戦ぐ

やはらかな毛を撫で合うて毛虫かな

小さくて数を頼みの毛虫かな

吹く風が油断の毛虫落としけり

耳にして眉を擗むる毛虫かな

花よりも葉を好みたる毛虫かな

啞へられいまはの空を行く毛虫

眉の如き毛虫に眉を擗めたる

一枚の葉に並びたる毛虫かな

焼かれたる毛虫沸騰してゐたる

聞くだにも眉を擗むる毛虫かな

ぼつたりと大樹の陰に毛虫かな

立ち上る毛虫燃えつつ燃え落る

ふさふさの尻尾のごとき毛虫かな

大変な事となりたる毛虫かな

4.20 11:00am

2

鬼の子は飯もおさいも毛虫なり

何色であれど毛虫は毛虫なり

聞くだにも眉を擗むる毛虫なり

地獄とは毛虫の多き国ならむ

毛虫にも色々あれどみな嫌ひ

ふさふさの尻尾のごとき毛虫かな

病める木に灸のごとく毛虫焼く

黒毛毛虫・栗毛毛虫とゐるらしき

割箸で毛虫の背ナを撫でてみる

唾へられいまはの空を行く毛虫

毛虫にも黒毛・栗毛の誇りあり

割箸の先に毛虫がくねくねと

立ち上る毛虫燃えつつ燃え落る

見開きの毛虫凶鑑と見比べて

毛虫とは似ても似つかぬものとなる

もくもくと煙の如き毛虫かな

人類にプロメテウスや毛虫焼く

変身の片鱗もなき毛虫なり

焼かれたる毛虫沸騰してゐたる

毛虫にも赤子がありて毛虫なり

毛虫なら竹輪の穴に入れさう

ふはふはと風に吹かるる毛虫かな

王様のやうなあゆみを毛虫かな

小さくて数を頼みの毛虫かな

吹く風が油断の毛虫落しけり

総身を豊かに吹かれ毛虫かな

この毛虫飛び付く恐れなかるべし

吹く風に戦ぎ初めたる毛虫かな

やはらかな毛を撫で合うて毛虫かな

花よりも葉を好みたる毛虫かな

潰されて土に紛るる毛虫かな

耳にして眉を擗むる毛虫かな

一枚の葉に散らばりし毛虫かな

潰されて泥に紛るる毛虫かな

眉の如き毛虫に眉を擗めたる

一枚の葉に並びたる毛虫かな

14:30 20 pm

8:40 am

8:25 am

0:25 pm

0:33 pm

0:25 pm

0:27

5:40 am

8:50 am

2023・4・20【全然堂歳時記 夏】

【毛虫】

選38句

叩かれて毛虫を落す庭木かな

ぽつたりと大樹の陰に毛虫落つ

2023.4.20 毛虫 選23句

子鬼の日は 4.21 6:25 am

2

4.21 6:30 am

ままことの 23.17
鬼のおまじない

鬼の子は飯もおさいも毛虫なり

王様のやうなあゆみを大毛虫

唾へられいまはの空を行く毛虫

毛虫にも黒毛・栗毛の純血種

地獄とは毛虫の多き国ならむ

聞くだにも眉を顰むる毛虫なり

病める木に灸のごとく毛虫燃ゆ

○割箸で毛虫の背ナを撫でてみる

火をつけし毛虫燃え立ち燃え落る

割箸の先に毛虫がくねくねと

○生臭き煙の如き毛虫かな

毛虫とは似ても似つかぬものとなる

焼かれたる毛虫沸騰してゐたる

○変身のまだ片鱗もなき毛虫

潰されて泥にべつとり毛虫死す

毛虫なら飛び付く恐れなかるべし

毛虫にも色々あれどみな嫌ひ

花よりも葉つばを好む毛虫なり

見開きの毛虫凶鑑と見比べて

叩かれて毛虫を落す庭木なり

人類にプロメテウスや毛虫焼く

ぽつたりと大樹の陰に毛虫落つ

毛虫にも赤子がありて毛虫なり

大毛虫の 4.21 0:55 pm

2023.4.21 【全然堂歳時記夏

【毛虫】 選27句

4

鬼子らは飯もおさいも毛虫なり

唾へられいまはの空を行く毛虫

地獄とは毛虫の多き国ならむ

病める木に灸のごとく毛虫燃ゆ

火をつけし毛虫燃え立ち燃え落る

地を這へる煙の如き毛虫かな

生臭き煙を立つる毛虫かな

燃やされて毛虫沸騰してゐたる

潰されて地にべつたりと毛虫の死

潰されて地にべつとりと毛虫死す

毛虫にも色々あれどみな嫌ひ

見開きの毛虫図鑑と見比べて

人類にプロメテウスや毛虫焼く

毛虫にも赤子がありて毛虫なり

女王のやうにしづしづ大毛虫

王様の如くゆつくり大毛虫

毛虫にも黒毛・栗毛の純血種

蠶に憧れてゐる大毛虫

聞くだにも眉を聳むる毛虫なり

割箸で毛虫の背ナを撫でてみる

割箸の先に毛虫がくねくねと

毛虫とは似ても似つかぬものとなる

変身のまだ片鱗もなき毛虫

毛虫なら飛び付く恐れなかるべし

花よりも葉つばを好む毛虫なり

叩かれて毛虫を落す庭木なり

ぼつたりと大樹の陰に毛虫落つ

12行3段組14ポ 2023年4月21日 16:20 へ1 桐10

4.22 2:53am 4.21 6:42pm

4.22 2:30am

4.21 6:40pm

4.21 8:05am 8:45pm

2023.5.2【全然堂歳時記 夏【毛虫】】選26句

10行3段組14部 B175明朝 太 2023年5月2日 08:38 ↑ 桐10

唾へられいまはの空を行く毛虫

毛虫にも黒毛・栗毛の系図あり

ぼつたりと大樹の陰に毛虫落つ

地獄とは毛虫の多き国ならむ

蠶に憧れてゐる大毛虫

亡者には飯もおさいも毛虫なり

病める木に灸のごとく毛虫燃ゆ

聞くだにも眉を聳むる毛虫なり

火をつけし毛虫燃え立ち燃え落る

割箸で毛虫の背ナを撫でてみる

地を這へる煙の如き毛虫かな

割箸の先に毛虫がくねくねと

燃やされて毛虫沸騰してゐたる

割箸の先に毛虫が絡みつき

潰されて地にべつたりと毛虫の死

毛虫とは似ても似つかぬものとなる

毛虫にも色々あれどみな嫌ひ

変身のまだ片鱗もなき毛虫

見開きの毛虫図鑑と見比べて

毛虫なら飛び掛からる恐れなし

人類にプロメテウスや毛虫焼く

花よりも葉つばを好む毛虫なり

毛虫にも赤子がありて毛虫なり

叩かれて毛虫ぼたぼた落しをる

女王のやうにしづしづ大毛虫

飽食の毛虫ぼたぼた地に落る

Handwritten notes in red ink including times like 4:40 am, 4:45 pm, 5:08 pm, and phrases like '毛虫にも赤子がありて毛虫なり', '女王のやうにしづしづ大毛虫', '飽食の毛虫ぼたぼた地に落る', '叩かれて毛虫ぼたぼた落しをる', '花よりも葉つばを好む毛虫なり', '毛虫なら飛び掛からる恐れなし', '毛虫とは似ても似つかぬものとなる', '変身のまだ片鱗もなき毛虫', '見開きの毛虫図鑑と見比べて', '人類にプロメテウスや毛虫焼く', '毛虫にも赤子がありて毛虫なり', '女王のやうにしづしづ大毛虫', '飽食の毛虫ぼたぼた地に落る'. There is also a circled '5' and a circled '叩かれて毛虫ぼたぼた落る'.

